

インフルエンザ注意報の発令について

令和5年2月9日（木） 16時00分

北海道名寄保健所 健康推進課

電話：01654-3-3121

北海道では感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、令和5年第5週（令和5年1月30日～令和5年2月5日）において、管内の定点医療機関当たりの患者報告数が、注意報基準以上となりましたので、インフルエンザ注意報を発令します。

記

1 定点医療機関当たりの患者報告数（第5週速報値）

区分	名寄	全道	全国
定点当たり患者数	11.60人	11.32人	集計中

2 対応

北海道では、ホームページや各保健所などを通じて、外出後の手洗いや適度な湿度の保持、マスクの着用や咳エチケットの励行によるインフルエンザの感染予防を呼びかけています。

また、感染予防や重症化を防止するため、インフルエンザワクチンの接種も効果があるとされています。なお、全道のインフルエンザ流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページで御覧になれます。

3 参考

(1) 最近5週間における定点医療機関当たりの患者報告数（表示は、「患者/定点」単位：人）

	第1週 (1/2～1/8)	第2週 (1/9～1/15)	第3週 (1/16～1/22)	第4週 (1/23～1/29)	第5週 (1/30～2/5)
名寄保健所	24(4.80)	38(7.60)	32(6.40)	32(6.40)	58(11.60)
全道	1299(5.72)	1729(7.55)	1869(8.20)	2018(8.89)	2592(11.32)
全国	23523(4.77)	36575(7.39)	47366(9.59)	51219(10.36)	- (-)

※第5週の患者報告数は速報値。

(2) インフルエンザの注意報・警報とは

【発令基準】 注意報：1 定点医療機関当たりの受診患者数が一週間で10人以上となった場合

警報：1 定点医療機関当たりの受診患者数が一週間で30人以上となった場合

※ 警報発令後は1 定点医療機関当たりの受診患者数が10人以上であれば警報を継続

厚生労働省の感染症発生動向調査により、管内のインフルエンザ定点医療機関を受診したインフルエンザ患者数が、注意報・警報の発令基準値に達した場合に発令します。

注意報は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示しており、流行発生後であれば、その流行がまだ終わっていない可能性があることを示しています。

また、警報は、大きな流行の発生や継続が疑われることを示しています。